

総括質疑

会派の構成人数により文字数に違いがあります。

新型コロナウイルス感染症

市政運営への影響を問う

自民党・いさま（竹田 陽介議員）

令和2年度座間市一般会計歳入歳出決算の認定について、新型コロナウイルス感染症が市政運営にどのような影響を与えたのか伺います。次に、法人市民税の減収について、法人企業統計調査などの分析と若干異なることから、その要因についてどのような違いから生じたと考えるか伺います。また、市税全体の収入状況について、新型コロナウイルス感染症により景気減速が予測された中、市税総額では9923万8千円、前年度比0.5%増加しました。リーマン・ショック級の大打撃と言われた中、リーマン・ショック後とは異なり、税収減とならなかったことをどのように分析しているのか伺います。

22億2千万円を超え、引き続き国や県の交付金、補助金を活用するなど、市民サービスを継続的に提供するための年度の財政調整に備えることのできたことから、今後も安定した市政運営ができるかと捉えています。

企画財政部長 法人市民税の減収について、国内全体の統計では製造業は回復傾向にありますが、各自治体による地域産業の特性から統計には地域差があると認識しています。本市の減収の要因は、製造業等における大規模法人の企業収益の減少と税制改正による法人税割の税率が12.1%から8.4%に引き下げられた影響と捉えています。

市長 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、415億9498万9千円であった当初予算は最終的に612億1885万5千円まで拡大しました。そのような中、感染症緊急対策関係事業の対応に追われながらも確実に成果を上げつつ、施設運営関係やイベント関係事業の一部を除きおおむね実施計画事業を含めた各事業をしっかりと遂行できたことは大きな成果と考えています。さらに、財政調整基金の年度末残高は

職員定数条例改正を共創で

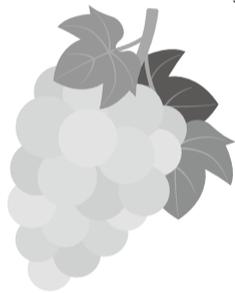
解決する考えはないのか問う

さま大志会（沖本 浩一議員）

座間市職員定数条例の一部を改正する条例について伺います。地方公務員の生涯賃金は社会保障費を含めると約3億円とも言われています。今回唐突に提案された40人の増員を行うことになれば、在職期間約40年間として、120億円の市民の血税が使われることとなります。増員について、市民の皆さんから意見を聞こうとせず、ただ庁内で検討し、市長が決裁するというプロセスでよいのでしょうか。職員の定数増に関しては、様々な意見を持った市民がいると思います。市長が所信表明で述べた「本市が抱える課題を行政のみで解決するのはなく、市民、企業、団体な

どの協働から一歩進んだ、共に創ると書いて共創で解決をしていく形に進化させたい。」という考えを反映する意向はないのか伺います。

市長 継続的な市民サービスに影響を及ぼしかねない状況と判断し、安定した市政運営を継続できる体制を構築するための改正であり、庁内での検討を経て、市長決裁で決定するものと認識しています。



特別定額給付金と

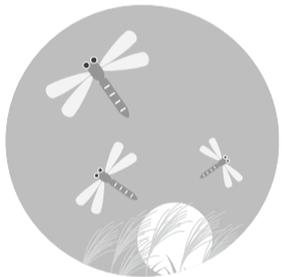
幼児教育・保育無償化の評価を問う

座間市公明党（上沢 本尚議員）

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、国民一人10万円の特別定額給付金の給付が行われました。我々公明党が当時の安倍総理大臣に決断を求めた政策です。本市でも132億6142万円の事業でした。本政策の評価について、所見を伺います。

市長 特別定額給付金給付事業は、給付対象者13万1837人に対して13万1353人に給付しました。結果として、給付対象者の99%以上に給付金10万円を届けられたことから、実効性の高い政策で

あつたと捉えています。幼児教育・保育の無償化に対する評価について、幼児教育・保育の無償化、また、小・中学校の義務教育や高等教育の就学支援によって、子供たちの教育を社会全体で切れ目なく支援することで、少子化対策に寄与し、加えて、豊かな人材が育ち、豊かな国を築ける大変重要な政策であると改めて評価しています。



幼児教育・保育の無償化について

市の負担を問う

日本共産党（守谷 浩一議員）

幼児教育・保育の無償化に関する市の負担について、国や県の補助額を差し引いた市の持ち出し分の合計額を伺います。併せて、市の持ち出し分の内訳として大きなものについて伺います。

子ども未来部長 市の持ち出し分の合計は1億7千万円余です。その内訳として、保育所保護者負担金（公立現年度分）の対前年度決算比減額分が全額市の負担となったこと及び幼稚園子ども・子育て支援事業費が大きな負担であると捉えています。

市民交流プラザ指定管理者の選定は

市民要望に込んでいるのか

会派に属さない議員（安海 のぞみ議員）

市民部長 指定管理者選定委員会において公正かつ適正な審査を行っており、事業者には、業務が利用者ニーズに合致しているかのモニタリングを定めています。新たな市民要望等の協議は、選定手続の中ではしていません。

子育て支援センターの

利用者支援事業（相談事業）について

会派に属さない議員（長瀬 未紗議員）

令和2年度から市内に3カ所ある全ての子育て支援センターで始まった利用者支援事業について、評価を伺います。

子ども未来部長 当事者目線で幅広く子育てに関する相談に応じ、事業を効果的にスタートすることができました。

職員定数の40名増

現場の声はどうだったのか？

会派に属さない議員（沖永 明久議員）

各部署から必要な職員数についてヒアリングは行われているか。それを積み上げた数値はどのくらいだったのか。

総務部長 聞き取りを行った。それを基にした数は、今回の改正である40名を上回るが、精査して提案に至った。

本会議の概要

- ▽8月26日 開会、会期決定、会議録署名議員指名、陳情の取下げ、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、議案上程・提案説明
- ▽8月27日 総括質疑・委員会付託、請願及び陳情上程・委員会付託、報告上程・質疑
- ▽9月2日 一般質問
- ▽9月3日 一般質問
- ▽9月6日 一般質問、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託
- ▽9月27日 委員会審査報告

議会中継を行っています

議会の様子をさらに広くお伝えするため、インターネットで本会議の中継映像を配信しています。映像はパソコンやスマートフォン、タブレット端末でもご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。

座間市議会 を 検索

インターネット中継 **クリック!**

○問合せ先 議会事務局
☎046(252)8872

なお、総括質疑、質疑、討論は、次の議員が行いました。